

【学校教育目標】

ふるさとを愛し 心豊かで たくましく 共に学び合う 生徒の育成

《身に付けたい資質・能力》 相互理解・共感力 伝え合う力 考動力

2学期を迎え、決意を新たに！

本校は23日(水)、管内2校のうちの一つですが、一番早く2学期の始業式を迎えました。夏休みとはいえ、1、2年生は部活動に、3年生は自主学習と毎日のように学校に登校し、暑い中、一生懸命に取り組む姿が目に見えました。さて、始業式では各学年の代表の生徒(1年 平野さん、2年 水篠さん、3年 馬場さん)が夏休みの思い出や学習・修学旅行・中体連駅伝大会等へ向けた2学期の具体的な目標を発表しました。

2学期は、1年間で最も長い学期です。その分、行事等も多く、それぞれの生徒が主役になれる機会がたくさんあります。そのチャンスを見逃さず、自分から積極的に手を挙げ、どんどん前に出て、活躍してほしいと思っています。思うのは簡単です。行動の移す勇気を期待しています。



きなスポーツイベントが行われたり、今後開催されます。そんな中、アスリート育成や指導法が転換期である記事をよく目にしたり、耳にします。気になる記事があったので紹介します。～選手が技能を伸ばすためには、**自ら学ぼうとする意欲こそが重要である**という考え方に基づき、旧来の教え込む指導を改める「アスリートセンタード・コーチング」が、提唱した日本体育大学の伊藤雅充教授の普及活動により着実に広がってきている。「アスリートセンタード・コーチング」とは、トレーニングは選手本位で行われることを基本としている。指導者は選手自らが学ぼうとする環境を整えることに注力し、成長を促そうというコーチングである。アスリートセンタード・コーチングでは、選手に主体的に練習に取り組んでもらい「できた！」や「やった！」を感じられる機会をいかにつくるかが、大きなテーマといえる。それを阻害することがあるのが、指導者が抱く選手への期待である。特に**指導者の頭の中にある正解**をどれだけ再現してくれるか？という期待に基づく指導は、選手が主体的であろうとすることを阻む。スポーツの指導における大きな問題と指摘されている体罰や暴言といったパワハラ指導も、**指導者の期待と選手のパフォーマンスとの差**から生まれるものである。選手にうまくなってほしいと願い成長を期待すること自体は悪いことではないが、それが**「指導者の頭の中にある正解」を選手が再現することへの期待**になっていないかは、常に注意を払う必要がある。選手が自分の頭で考え下した決断は全て受け入れるぐらいの広い心が必要である。もしかすると アスリートセンタード・コーチングは放任のように思われがちだが、それは明確に違う。指導者は選手の選択を尊重するという前提は守りつつも、選手が自分にとってよりよい方法を見つけていくための働きかけは推奨していかなければならない。指導者とは「化学反応の速度を変化させる触媒のような役割」で、自ら決定し成長していこうとする選手を見守り、その成長のスピードを速めるために関わっていく指導をイメージするとよい。もうひとつ例えるならば、放牧され、各々自由に草を食べている羊の群れの周りを走り、それを外側から見守り、時に管理する羊飼いや牧羊犬のような存在というものに近いかもしれない。選手本人の意思は尊重すべきであるが、先に生きた人間として指導者がサポートできることはある。選手が一人ではたどり着けないゾーンにいくための間接的なサポートそのような立場からトレーニングをデザインするのが、アスリートセンタード・コーチングにおける指導者の役割である。～

この記事を読んだ時、今までの自分の指導を振り返り、今の学校教育にも必須であると思った次第です。

親の学び～次世代編～

本校は、今年度「親の学びプログラム」次世代編実践協力校に委嘱されました。先日の25日(金)には、球磨教育事務所の尾方 英介社会教育主事、球磨村教育委員会の杉本 慧和主事が来校され、学年ごとに授業をしていただきました。「自分の将来」を題材にグループをつくり、すごろくトークで自分の今を語り合いました。最初は緊張気味でなかなか発言も少なかったのですが、時間が経つにつれだんだん盛り上がりを見せ、とても有意義な時間を過ごしました。



チーム球磨～豊かな人間性を育む～

26日(土)は、本村一勝地のこがね保育園の運動会でした。本校から、馬場さん、岩崎さん、氏川さん、坂田さんの4名がボランティアでお手伝いに来てくれました。積極的に動く姿に感心させられました。保育園とのつながりも大事に、「球磨は一つ」です。



子ども主体の指導を考える

今年の夏は、高校野球で107年ぶりの慶應義塾高校の優勝、世界陸上、バスケットボールワールドカップ、ラグビーワールドカップと大



9月の行事

- 1日(金)～15日(金)
くまむら 早ね 早おき いきいきウィーク
- 6日(水)・7日(木);3年福祉体験活動
- 7日(木)・8日(金);1年集団宿泊教室
- 26日(火);小中連携事業
教科授業「保健体育」
- 27日(水)・28日(木);3年実力テスト
※都合により変更もあります。

